

Osmo の付着力試験

(プルオフ法) - 打継用ボンド E200

平成 22 年 11 月

株式会社リナック八千代

付着力試験（プルオフ法）－打ち継ぎ用ボンド E200

【概要】

Osmo を塗布したコンクリートに接着剤（ボンド E200）を貼り付けた場合の付着強度を確認する。

【供試体・使用材料】

配合　：　水セメント比 0.50

打設日：　2008 年 11 月 13 日

寸法　：　□100×100×400 を使用　5 本

接着剤：　ボンド E200（エポキシ樹脂系）

※コンクリート・モルタルの打ち継ぎ用接着剤。湿潤面接着可能。

試験面：　打設面（天端面）

塗布種類：

種類		略記
無塗布		NO
Osmo 塗布 3 時間後	洗浄あり	OS (3h)
	洗浄なし	OS (3h)'
Osmo 塗布 6 時間後	洗浄あり	OS (6h)
	洗浄なし	OS (6h)'

【塗布・養生】

打設面（天端面）に Osmo 塗布を行ったあと、3 時間後、6 時間後に接着剤（ボンド E200）を塗り、アタッチメントを貼り付けた。また、それぞれ Osmo 標準塗布（200ml/m²）後に洗浄あり、洗浄なしの 2 種類の検体を作成した。

養生期間は、Osmo 塗布後 14 日間気中に放置、引張試験機については（テクノテスター）を用いて付着強度を測定した。

【試験結果】

塗布 1 種類につき各 3 点の測定を行った。表 1 に最大引張荷重、付着強度結果、破断状態を示す。図 1 には付着強度結果グラフを示す。

表 1、図 1 より、無塗布より高い付着強度となった。また、洗浄の有無についても付着強度に大差は見られなかった。Osmo 塗布による接着剤（ボンド E200）との付着性の問題は無いと思われる。

破断状態については、各種類のすべての箇所において基板コンクリートから剥がれていく状態であった。

表 1 接着剤（ボンド E200）との付着試験結果（平均）

	最大引張荷重 (KN)	付 着 強 度 (N/mm ²)	破断状態
NO	5.6	3.5	コンクリート基板破壊
OS (3h)	6.0	3.8	コンクリート基板破壊
OS (3h)'	7.7	4.8	コンクリート基板破壊
OS (6h)	8.4	5.2	コンクリート基板破壊
OS (6h)'	7.6	4.8	コンクリート基板破壊

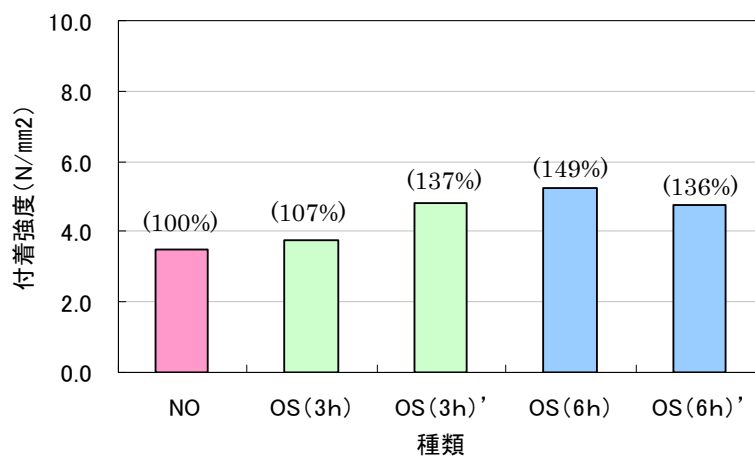


図 1 付着強度結果グラフ () は対無塗布比率

【状況写真】



写真1 Osmo 塗布後 (3時間、6時間後)、試験面に接着剤ボンド E200 を塗る

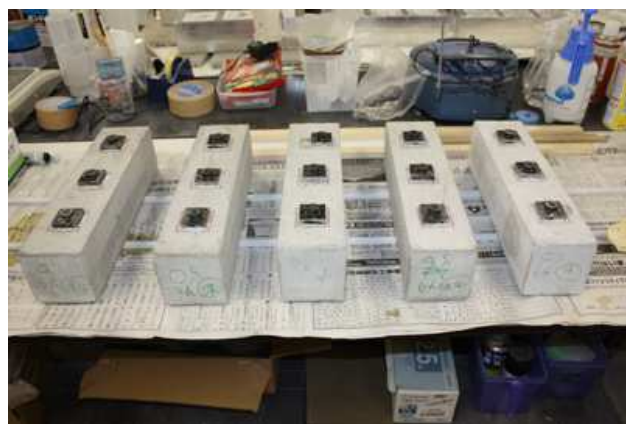


写真2 ジグを貼り付ける

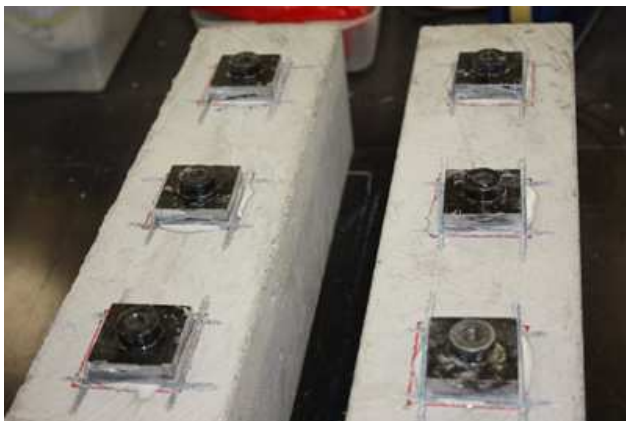


写真3 コンクリート基板位置まで切り込みを入れる





写真4 引張試験機（テクノテスター）
で1種類につき各3点引張を
行う

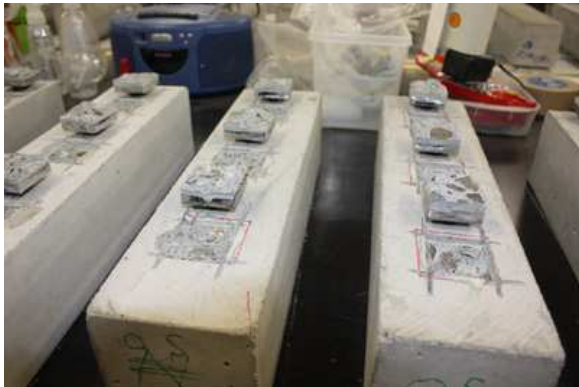


写真5 破断状況
(コンクリート基板で破断)



以上